

# UFlect

ユーフレクト



メンテナンスガイド：K B I 12-6



分解や改造をしない。

モーターの故障につながり、思わぬ発熱などで火災などの原因になります。また、漏電、感電等の事故やファンの故障の原因になります。モーター本体には、ユーフレクト、及び日本代理店が指定する部材品以外は使用しないで下さい。

作動中は手を触れない。

ユーフレクト本体には、絶対動作中には手を触れないで下さい。感電、ファンの回転等による接触事故などの原因になります。



## 用意するもの






軍手、雑巾、ブラシや刷毛、古新聞紙、脚立

## あると便利

ペンチ、小型掃除機

ユーフレクト本体のファンモーターは、メンテナンスフリーですが半年に一度機器内を清掃するようにして下さい。清掃方法は次の手順にそって行って下さい。

作業手順		
1.		ユーフレクト専用電源は、分電盤に専用回路が御座います。
2.		専用回路をOFFにします。

3.		<p>ユーフレクトメンテナンス用点検口 (通常、浴室近くの化粧室、納戸、トイレなどの天井上に機器が設置されています)</p> <p>▲ 天井点検口の場合は、開けた時ホコリが落ちてくる可能性がありますので古新聞紙などを先に床に敷くことをお勧めします。</p>
4.		<p>点検口を開放した状態</p>
5.		<p>モーターの停止を、確認してからバタフライナットを 2 ケ所回し(反時計方向)蓋を開放します。(回しにくい場合は、ペンチなどを使用します)</p> <p>⚡ 必ず停止を確認後に作業を行って下さい。</p>
6.		<p>ホコリが落ちてくる場合も御座いますので、ゆっくり蓋を開放します。</p>
7.		<p>モーターとカバーに付着したホコリをブラシや布できれいにします。(金属ブラシは、偏芯の原因となりますので使用しないで下さい)</p> <p>▲ モーターの羽に回転バランスを保つ金具が付いている時は、外したり、ずらしたりしないようにして下さい。 回転バランスが狂うと故障の原因となります。</p>
8.		<p>清掃、メンテナンスが終了後、逆手順の作業を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 蓋を閉め、バタフライナットで固定し蓋のプレがないか確認します。</li> <li>2. 分電盤の専用回路を ON にします。</li> <li>3. 点検口を閉める前に、モーターの駆動を確認し、蓋から漏気がないか確認します。</li> <li>4. 問題なければ点検口を閉め完了です。</li> </ol>

▲ シンナーなどの溶剤は使用しないで下さい。故障・破損の原因になります。